いちかわ 歌碑・句碑探訪

市川では、「万葉集」の時代から現在まで数多くの歌や句が詠まれ、
多くの歌碑や句碑が建てられています。
その碑の前に立つと、詠まれた時代や思いを肌で感じることができるのではないでしょうか。
梅の花が咲くこの時季に、訪ねてみませんか。
問 歌・句について＝☎320-3334文学ミュージアム

✿…梅スポットあり（2月～3月ごろ）

真間・国分エリア

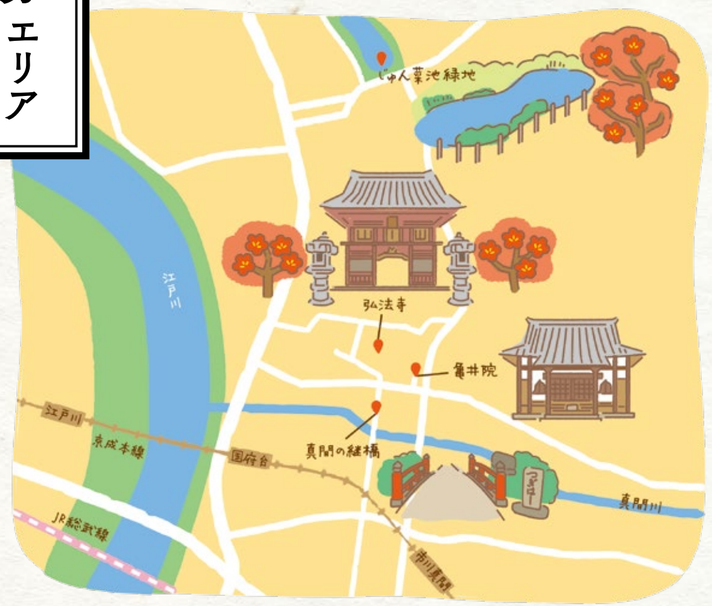
能村登四郎句碑

中国分4-27 じゅん菜池緑地 ✿

能村登四郎主宰の俳句結社「沖」の設立15周年を記念して建立されました。「沖」や句集『枯野の沖』の書名の由来となった作品です。

火を焚くや枯野の沖を誰か過ぐ

能村登四郎
63年間八幡に暮らし6千余句の作品を発表。市内の幼稚園・小・中学校校歌の作詞も手掛けました。



夕焼けの移ろひまでも映しつつやがて暮れゆく大きなる池

神作光一歌碑

中国分4-27 じゅん菜池緑地 ✿

歌人・国文学者の神作光一氏がじゅん菜池を歩きながら詠んだ一首が刻まれています。神作氏は、市川手児奈文学賞の創設に関わりました。

真間寺で斯う拾ひしよ散紅葉

小林一茶句碑

真間4-9-1 弘法寺 ✿

小林一茶が真間山で俳人大川立砂と紅葉狩りを楽しんだ思い出を詠んだ句が刻まれています。この句は立砂の十三回忌にささげられました。

足の音せず行かむ駒もが葛飾の真間の継橋やまず通はむ

万葉歌碑（東歌）

真間4-6 真間の継橋

「万葉集」には真間の地を詠んだ歌が9首あり、そのうちの1首が刻まれています。「万葉集」は、現存する最古の和歌集で、東歌は東国地方の作者不明の歌の総称です。

蛍飛ぶ真間の小川の夕闇に鰕すくふ子か水音立つるは

北原白秋歌碑

真間4-4-9 亀井院

「かつしかの夏」と題して発表された連作の1つが刻まれた歌碑です。北原白秋は、約1カ月亀井院に仮住まいをしていました。

八幡エリア

永井荷風歌碑

菅野1-15-2 白幡天神社 ✿

永井荷風の日記「断腸亭日乗」に記された短歌と日記の一節が刻まれています。その一節には、白幡天神社のそばの茶屋で牛乳を飲んだとあります。

松しける生垣つゞき花かをる菅野はげにもうつくしき里

©白幡天神社

永井荷風
晩年の13年余りを市川で過ごした荷風は、散歩好きで市内のいろいろな場所を訪れました。「断腸亭日乗」には、白幡天神社がたびたび登場します。

冬木立むかしむかしの音すなり

小林一茶句碑 八幡4-2-1 葛飾八幡宮

弘法寺の一茶の句碑と同じく大川立砂の十三回忌にささげられた句です。万歩塚の起点。

勝鹿の真間の入江に打ち靡く玉藻かりけむ手児名し思ほゆ

万葉歌碑（山部赤人）

八幡4-2-1 全日警ホール

伝説の美女 手児名を詠んだ歌が刻まれています。和歌や書道文化を継承していくことを目的とし、書家の土橋靖子氏が揮毫しました。

▲てこなちゃん

葛飾八幡宮の一茶句碑から1万歩地点に建立されています。

実際に歩いてみませんか

万歩塚（中津攸子）

行徳駅前2-19 弁天公園

中津攸子氏（文筆家）が弁天公園で詠んだ俳句が刻まれています。中津氏は、市川の歴史について多数執筆しています。

弁天の声か涼しき風渡る

行徳エリア

うたがふな潮の華も浦の春

松尾芭蕉句碑

本塩1-25 法善寺

松尾芭蕉の百回忌を記念して行徳の俳人たちが建立した句碑です。法善寺は製塩に関わりがあり、塩場寺とも呼ばれていることから、この句が選ばれました。

文学ミュージアムで知識を深めよう

歌碑や句碑をご覧になって
歌人や俳人のことをもっと知りたくなったら、
文学ミュージアムにも足を運んでみませんか。

2階 通常展示
本市ゆかりの文学者や映像作家、写真家など、幅広いジャンルの作家の資料を展示しており、無料で入場できます。俳句や川柳、短歌などの詩歌コーナーでは作者の直筆資料や解説を展示しています。

3階 資料室
本市ゆかりの文学者や市川を描いた作品を閲覧することができます。句集や歌集をじっくりと読んで、情景を思い浮かべながら作品の世界を楽しんでみるのはいかがでしょうか。
本紙9面「歴史と文化の散歩道」でも、資料室について紹介しています。

市川手児奈文学賞

全国から「市川を詠む」をテーマに文芸作品（短歌・俳句・川柳・詩）を募集して、市川の文芸風土に対する関心を深め、魅力あるまちとして再発見してもらうことを目的に、平成12年から始まりました。今年度で24回目を迎えます。詳しくは下記2次元コードでご覧ください。

また、今年度入賞・入選した作品をまとめた、作品集を販売しています。手に取って、市川の文化に触れてみてはいかがでしょうか。
（『第二十四回市川手児奈文学賞　二〇二三年市川を詠む』
販売場所：文学ミュージアム 通常展示フロア）

場 鬼高1-1-4　問 ☎320-3334文学ミュージアム
開館時間　通常展示　火曜～金曜日午前10時～午後7時30分、
土・日曜日、祝日午前10時～午後6時
資料室　午前10時～午後5時
休館日　毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始
館内整理日　毎月最終平日（8・12月を除く）